



極める！ 大学教授講演会シリーズ

東大教授講演会

講演者

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授

阿部 公彦 教授



<プロフィール>

1966年生まれ。現在、東京大学文学部教授。英米文学研究。文芸評論。著書は『英詩のわかり方』（研究社）、『小説的思考のススメ』（東京大学出版会）、『幼さという戦略』（朝日選書）、『名作をいじる』（立東舎）、『史上最悪の英語政策』（ひつじ書房）など啓蒙書と、専門書としては『文学を（凝視する）』（岩波書店 サントリー学芸賞受賞）、『善意と悪意の英文学史』（東京大学出版会）など。マラマッド『魔法の樽 他十二編』（岩波文庫）などの翻訳もある。

ホームページ：<http://abemasahiko.my.coocan.jp/>

講演内容

英語学習に立ちはだかる「日本語の壁」

——なぜ、もうちょいリスニングに時間をかけるべきなのか

英語学習の議論が盛りあがっています。ときには過激化して、相手を「お前は史上最悪だ！」と罵る人までいる。品がありませんね。困ったものです。とりわけ「スピーキング派」と「スピーキング懐疑派」の争いは熾烈。

冷静に考えてみましょう。英語の勉強で「文法訳読」VS「スピーキング」という二者択一を迫るのは不毛ではないでしょうか。読み、書き、話し、聞くのぜんぶができたほうがいいのはあたりまえ。

ところが日本では長らく「文法訳読」VS「スピーキング」という二大党派の対立がつづいてきました。なぜでしょう。これ、実は日本語の特性と関係しているのです。しかも、この「日本語の事情」のために、私たちは英語の習得で苦勞してもきた。

今回はこの「事情」について考察したうえで、どうすれば私たちがこの「日本語の壁」を越えられるのかを検討してみたいと思います。

18:00-20:00に変更

日時 会場

9月24日（月・祝） ~~16:00～18:00~~

駿台予備学校 お茶の水校3号館（東大専門校舎）

事前申込制／無料

●駿台ホームページ PC用) <http://www.sundai.ac.jp/yobi/>